

社会科学習指導案（公民的分野）

日 時 平成22年5月21日（金） 第2校時

対 象 3年2組(男子20名 女子20名 計40名)

指導者 教 諭 鈴 木 克 幸

1 単 元 「市場経済はどのようなしくみになっているのだろう」

2 単元の考察

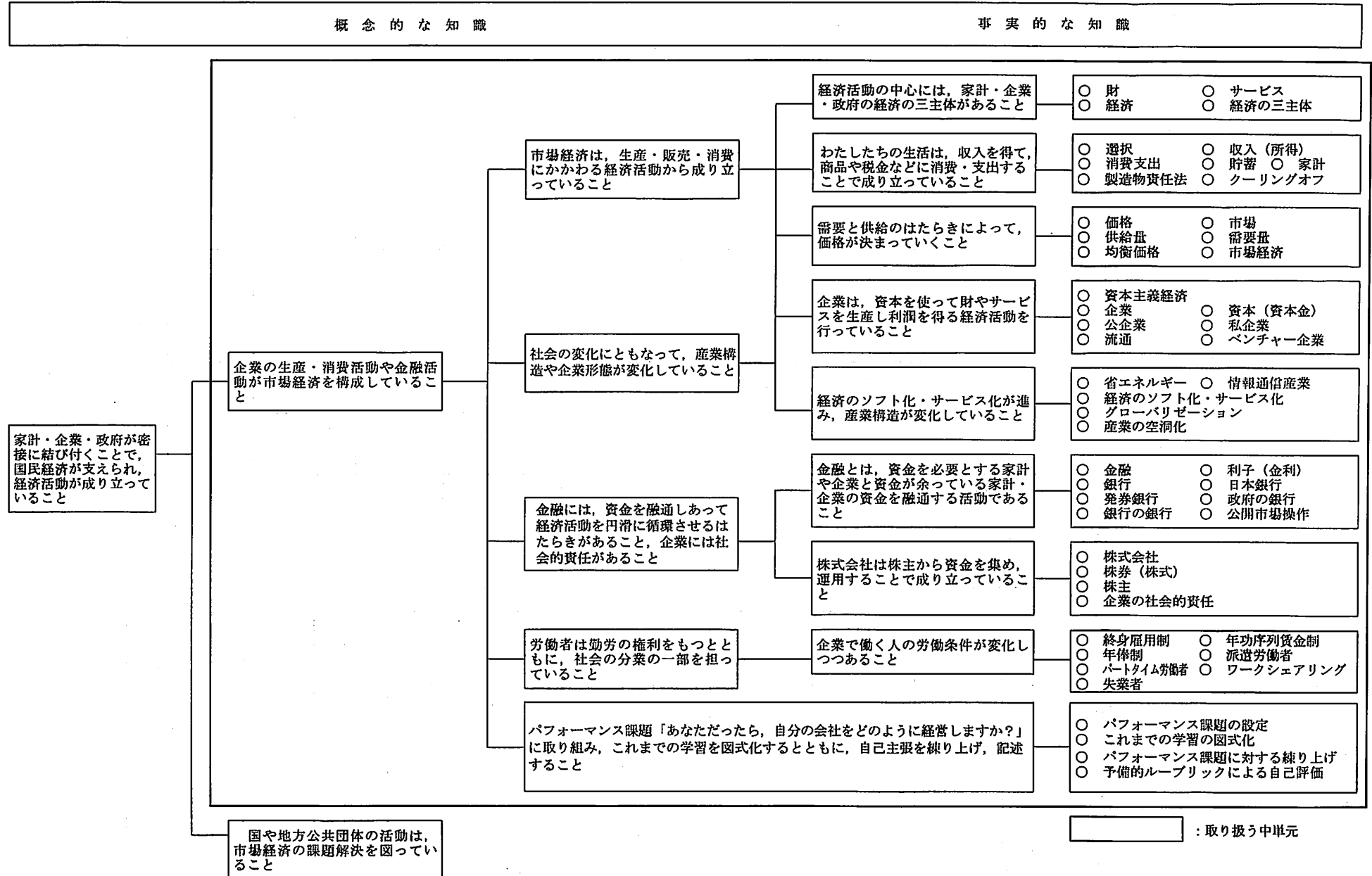
本単元は、経済活動の意義や市場経済の考え方、生産のしくみ、企業の社会的責任、金融のはたらきについて学習する。

経済活動は、企業が財やサービスなどを生産・販売・流通させ、消費者が購入・消費することで成り立っている。資本主義国家である我が国は、株式会社などに代表される私企業（民間企業）や公企業、第3セクターなどの様々な種類や規模の企業が存在し、市場経済を形成している。また、需要や供給の関係によって、株式や商品の価格が変動したり、好景気や不景気が繰り返されたりするなど、企業の経済活動は社会に影響を与えるとともに、私たちの消費生活や金融などとも大きなかかわりがある。また、日本経済は国際社会とのかかわりも大きい。日本の産業は高度経済成長や情報通信産業などの進展により、第一次産業の就業人口は減少し、経済のソフト化・サービス化が進むとともに、産業構造も変化しつつある。そのため、外国の資源や食料に依存している現状が見られ、国内産業の空洞化も起こりつつあるなどの課題もあり、企業が社会に対して果たすべき役割や責任、影響はとても大きなものがある。

アンケート結果によれば、社会科の学習に関心をもっている生徒は25名（63%）おり、社会科の学習に意欲的に取り組んでいる。しかし、地理的分野に関心をもっている生徒が18名（45%）、歴史的分野に関心をもっている生徒が27名（68%）いるのに対し、公民的分野に関心をもっている生徒は17名（43%）に留まり、公民的分野に苦手意識をもっている生徒が多いことがわかった。生徒は小学校6年次に地方自治や国会、選挙と生活とのかかわり、日本国憲法の三原則、国際連合、地球環境問題について学習しているが、経済分野に関してはほとんど学習していない。そのため、企業の経済活動がどのように行われているかは曖昧にしか捉えられておらず、理解している範囲は自分の生活範囲に留まっている。「商品の価格はなぜ、店によってちがうのか」「古くなった商品の価格はなぜ、下がるのか」という問いには18名（45%）が答えられたが、「なぜ、ガソリンの価格は上がった、下がったりするのか」「どうして好景気や不景気が起きるのか」「消費者を守るためにどのようなものがあるか」「企業が果たすべき責任とは何か」などの問いに対しては、「わからない」「知らない」と答える生徒が30名（75%）と多く、日本経済のしくみや現状を主体的に考えたり、国際関係や企業の活動と関連付け、考察することができていないことがわかった。

指導に当たっては、経済の三主体でもある家計や企業に焦点を当て、身近な消費生活や企業の経済活動とのかかわりの学習を通して、企業のしくみや経済活動が価格などと大きなかかわりがあることに気付かせるとともに、関心をもたせたい。そこで、それぞれの主題に、企業の経済活動にかかわる様子やしくみなどの具体的な事例を取り上げることで、生徒の経済に対する興味・関心を高めるとともに、主体的に経済のしくみを考察しようとする意欲や態度を養いたい。本単元で学習する知識や概念を確実に身に付けさせていくために、学習内容を再構成し構造化した単元の指導計画を作成した。また、思考力・判断力・表現力を高めさせるために、習得した知識、概念や技能を活用する「言語活動」を単元の指導計画に位置付けた。さらに、生徒が身に付けた知識、概念や技能を見とるためにパフォーマンス課題を「あなただったら、自分の会社をどのようにつくりますか？」と設定し、単元末に図式化する時間を位置付け、自己の主張を練り上げさせる活動に取り組ませることにした。

3 単元の学習内容の構造化



4 単元の目標

- (1) 消費生活や企業の活動を中心に、経済活動の意義や生活とのかかわりについて意欲的に追究させる。
(関心・意欲・態度)
- (2) 多国籍企業の様子や産業構造の変化、経済のソフト化・サービス化などの日本経済の現状や課題について、多面的・多角的に考察させる。(思考・判断)
- (3) 流通のしくみや株価や価格の変動の様子を、様々な資料から消費生活や企業の経済活動とのかかわりを読み取らせ、ノートにまとめさせる。(技能・表現)
- (4) 市場経済における生産のしくみ、金融のはたらき、企業がもつ社会的責任について理解させる。(知識・理解)

5 単元の指導計画と評価の重点 (全10時間)

——— 評価(授業中) ———

——— 評価(授業後) ———

主 な 評 価 場 面 と 学習内容 (事実的な知識)	時間	評 価 規 準				主 な 言 語 活 動 の 具 体 的 場 面
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
暮らしをみつめて 経済の三主体について理解する場面 ○財・サービス ○経済の三主体 ○経済 ○第三セクター	1	経済のしくみについて意欲的に追究しようとする。 【観察】			経済の三主体について理解できる。 【ノート】	経済の三主体について、資料から読み取り、解釈する場面
消費と暮らし 経済活動の意義について理解する場面 ○選択 ○収入 ○消費支出 ○貯蓄 ○家計 ○製造物責任法 ○クーリングオフ	1			財やサービスに対しての支払いの問題についてノートにまとめることができる。 【ノート】	収入を得て、財やサービスに支出する流れを説明できる。 【ノート】	消費支出や貯蓄の内訳を読み取る場面
ものの価格の決め方 市場経済での価格の決め方や資源配分について考察する場面 ○価格 ○市場 ○供給量・需要量 ○均衡価格 ○市場経済	1	市場経済によってどのように価格が決まるか意欲的に追究しようとする。 【観察】	需要と供給の関係によって決まる均衡価格について考察できる。 【ノート】			需要と供給のグラフから価格との関係を読み取り、記述する場面
企業はさまざま 企業が家計によって提供されるの種類や規模について理解する場面 ○企業 ○資本 ○流通 ○公企業 ○私企業 ○ベンチャー企業 ○資本主義経済	1			流通のしくみについてノートにまとめることができる。 【ノート】	企業の種類や規模について説明することができる。 【ノート】	企業の種類や規模について、資料から読み取り、解釈する場面
変わる産業 日本経済や産業の変化について考察する場面 ○省エネルギー ○情報通信産業 ○企業の空洞化 ○グローバル化 ○経済のソフト化・サービス化	1	企業が外国に進出している理由を意欲的に追究しようとする。 【観察】	経済のソフト化・サービス化が進んでいる背景を考察できる。 【ノート】			産業構造の変化や経済のソフト化・サービス化の背景について自分の意見をまとめる場面
資金の貸し借り 銀行や日本銀行が経済活動とのかかわりについて考察する場面 ○金融 ○利子 ○銀行 ○日本銀行 ○発券銀行 ○政府の銀行 ○銀行の銀行 ○公開市場操作	1	金融の果たす役割や利子率について意欲的に追究しようとする。 【観察】	日本銀行と経済活動とのかかわりについて考察することができる。 【ノート】			銀行や日本銀行が経済活動で果たす役割について自分の意見をまとめる場面
会社のしくみと役割 株式会社のしくみや企業の社会的責任について理解する場面 ○株式会社 ○株券 ○株主 ○企業の社会的責任	1			株式の株価変動について、新聞などの様々な資料を基に読み取ることができる。 【ワークシート】	株式会社のしくみについて説明することができる。 【ノート】	株式会社のしくみや株価の変動について、新聞から読み取り、解釈する場面
安心して働く 労働者を取り巻く環境について考察する場面 ○終身雇用制 ○年功序列賃金制 ○年俸制 ○パートタイム労働者 ○派遣労働者 ○ワークシェアリング ○失業者	1		労働環境が経済活動に及ぼす影響を考察できる。 【ノート】		雇用状況や労働形態について、理解できる。 【ノート】	雇用状況や労働形態の様子を資料から読み取り、解釈する場面
パフォーマンス課題の設定 これまでの学習を図式化する場面 ○パフォーマンス課題の設定 ○これまでの学習の図式化	1	パフォーマンス課題に意欲的に取り組もうとする。 【観察】		パフォーマンス課題に対して、これまでの学習を踏まえて図式化できる。 【ワークシート】		パフォーマンス課題に対して自己の考えを図式化する場面
パフォーマンス課題の練り上げ 自己の考えをお互いに主張し練り上げる場面 ○パフォーマンス課題に対する練り上げ ○予備的ループリックによる自己評価	1		グループ活動や全体の場で、図式化されたワークシートを用いて、自己の考えを「根拠」「論拠」を基に論理的に主張させる。 【観察】	予備的ループリックを活用して、パフォーマンス課題を考察し、自己の考えを練り上げ、まとめさせる。 【ワークシート】		パフォーマンス課題に対して図式化した自己の考えをもとに、自己の意見を練り上げる場面
全10時間における各評価観点の配当時数		2 + ③	3 + ②	2 + ③	2 + ③	○数字は、授業後に行う評価の回数を表す

6 本時の実際 (10/10)

(1) 主 題 「自分の主張を見直し、練り直してみよう。」

(2) 本時の目標

ア グループ活動や全体場で、図式化されたワークシートを用いて、自己の考えを「根拠」「論拠」を基に論理的に主張させる。(思考・判断)

イ 予備的ループリックを活用して、「あなただったら、自分の会社をどのように経営しますか？」について考察し、パフォーマンス課題に対する自己の考えを練り上げ、まとめさせる。

(技能・表現)

(3) 主題の考察

本単元を学習するに当たり、企業や家計のかかわりを通して、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、生産・販売のしくみ、企業の社会的責任や役割、金融のはたらきについて学習してきた。その中で、企業や家計は価格を考慮しながら、財やサービスをどれだけ生産するか、消費するかを選択している。そして、価格には、何をどれだけ生産・消費されるかで人的・物的な資源を効率的に配分するはたらきがある。また、あるものが数多く生産・消費されることになれば、他のものは少なく生産・消費されることにつながる場合もあることなどを学習することにより、市場経済のしくみを理解してきた。

生徒は、経済分野についてこれまで特に学習を行ってはいない。単元学習前のアンケートの結果によると、新聞やテレビのニュースで気になっていることに、「公立高校の学費無償化」を挙げた生徒は16名(40%)、「子ども手当給付金」を挙げた生徒は11名(28%)、「高速道路通行料改定」を挙げた生徒は10名(25%)と、経済にかかわる身近なできごとについて、関心をもっている生徒が少なからずいることがわかった。しかし、なぜ、「そのような政策が行われるのか」という問いに対しては、「マニフェストに掲げていたから」「選挙に勝つため」と、その理由は政治分野とのつながりに偏っており、経済活動を経済の三主体の要素でもある「家計」や「企業」「政府」の活動や「金融」のはたらきと関連付けて、多面的・多角的にとらえることができていないことがわかった。

指導に当たっては、基本的な市場経済の考え方やしくみを学習した後、各単位時間に経済活動にかかわる内容を文章で記述させる活動を行う。また、パフォーマンス課題である「あなただったら、自分の会社をどのように経営しますか？」について、企業の経営シミュレーションを行わせていく。具体的には、架空の企業の経営実態に基づき、企業、金融、労働者の視点からよりよい企業の経営をめざして、売り上げを基に企業の資本投入や設備等の整備、株主への配当金、労働者への賃金、ボランティア活動等へ資金配分を考えさせる。自己の理想とする企業のしくみや制度を説明させ、考えをワークシートに図式化させる活動を行わせるとともに、授業の最後には、自己の主張を「根拠」「論拠」を踏まえてノートに記述させる言語活動を通して、思考力・表現力・判断力を高めさせていきたい。また、グループや全体場で説明させる活動や予備的ループリックを通して、パフォーマンス課題に対する到達段階を自己評価させることで、新たな視点や考えに気付かせ、自己の考えた企業のしくみ、制度をさらに練り上げさせることができると考える。このような活動を通して、経済に対する関心を一層高め、社会の一員として主体的に社会に参加し、生きていくための態度や意欲を養っていきたい。

(4) 研究に関する指導の工夫

【教科論 6－(2)－ア 生徒の活動を見とるためのパフォーマンス評価】

パフォーマンス課題「あなただったら、自分の会社をどのように経営しますか？」に対する自己の主張を修正し完成させるとともに、記述させる活動を通して、多面的・多角的に考察させる。

【教科論 6－(2)－イ パフォーマンス課題に基づくルーブリックの作成】

予備的ルーブリックに基づいて、自己のレベルがどの段階にあるか自ら評価させるとともに、パフォーマンス課題に対する自己の主張に対する「論拠」「根拠」の不足している点に気付かせる。

(5) 本時の展開 (10/10)

主な発問や指示	単	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	情報提示の方法と内容
<問題把握> ○ 自分の主張を確認してみよう。	5分	1 自分の主張を確認する。 2 学習課題を設定する。	1 前時でワークシートに記入した自分の主張に対する根拠や論拠を確認させる。 2 本時の学習内容を確認させ、学習課題を設定する。	ワークシート 「あなただったら、自分の会社をどのように経営しますか？」
自分の主張を見直し、練り直してみよう。				
<本質究明> ○ グループで、自分の主張を発表してみよう。	10分	3 グループで、自分の主張をお互いに発表する。 ↓	3 自分の主張に対する根拠、論拠を明らかにしながら、発表させる。	
【思考・判断】 グループ活動や全体場で、図式化されたワークシートを用いて、自分の考えを「根拠」「論拠」を基に論理的に主張することができる。				
○ 全体発表を聞き、自分の考えを発表してみよう。	10分	4 全体発表を聞き、意見を発表する。	4 主張に対する根拠や論拠を明らかにさせながら発表させる。また、全体発表に対する意見を発表させる。	TP 「生徒の作品」
○ 自分の主張を自己評価してみよう。	15分	5 予備的ルーブリックに基づいて、自分の主張を自己評価する。	5 全体発表の例を参考に、予備的ルーブリックに基づいて、自分の主張に対する根拠、論拠の不足している点に気付かせる。 【教科論 6－(2)－イ】	プリント 予備的ルーブリック
<洞 察> ○ 自分の主張を練り上げてみよう。	10分	6 自分の主張の練り上げをする。 ↓	6 パフォーマンス課題に対する自分の主張を修正し、ワークシートを完成させるとともに、文章で記述させる。 【教科論 6－(2)－ア】	ワークシート 「あなただったら、自分の会社をどのように経営しますか？」
【技能・表現】 予備的ルーブリックを活用して、「あなただったら、自分の会社をどのように経営しますか？」について考察し、パフォーマンス課題に対する自己の考えを練り上げ、まとめることができる。				

□ は評価場面、【思考・判断】は授業中における評価観点、【技能・表現】は授業後における評価観点

(6) 主な資料

資料1「各単位時間のまとめ」ワークシート

◆ 次の課題について、文章でまとめてみよう。

3年 組 番 氏名

学習日	時間	課 題	文 章 で ま と め て み よ う !
	1～3	市場経済は、どのような関係で成り立っているかまとめなさい。	
	4	資本主義経済では、私企業はどのように利潤を得ているかまとめなさい。	
	5	近年の産業構造の変化と問題点をまとめなさい。	
	6	銀行には、どのような役割があるかまとめなさい。	
	7	私企業が社会的責任を果たすために必要なことをまとめなさい。	
	8	労働者の雇用形態がどのように変化してきているかまとめなさい。	

資料2「自分だったら、会社をどのように経営しますか？」の予備的ルブリック

「自分だったら、会社をどのように経営しますか？」の自己評価カード

◆ 下の基準に基づいて、自己評価をしてみよう。

3年 組 番 氏名

項目 レベル	企 業	金 融	労 働 者	企業、金融、労働者の関係
3	企業の経済活動の特色を踏まえながら、下の用語の中から2つ以上取り上げており、それぞれの理由を述べられている。	金融が果たす役割を踏まえながら、下の用語の中から2つ以上取り上げており、それぞれの理由を述べられている。	労働者雇用の実態を踏まえながら、下の用語の中から2つ以上取り上げており、それぞれの理由を述べられている。	企業と労働者、企業と金融の関係が自分なりに、全て明らかにできている。
2	企業の経済活動の特色を踏まえながら、下の用語の中から一つを取り上げており、取り上げた理由を述べられている。	金融が果たす役割を踏まえながら、下の用語の中から一つを取り上げており、取り上げた理由を述べられている。	労働者雇用の実態を踏まえながら、下の用語の中から一つを取り上げており、取り上げた理由を述べられている。	企業と労働者、企業と金融の関係のどちらかが、自分なりに明らかにできている。
1	企業の経済活動の特色を踏まえながら、下の用語は取り上げているが、取り上げた理由を述べられていない。	金融が果たす役割を踏まえながら、下の用語は取り上げているが、取り上げた理由を述べられていない。	労働者雇用の実態を踏まえながら、下の用語は取り上げているが、取り上げた理由を述べられていない。	企業と労働者、企業と金融の関係のどちらも明らかにできていない。
用語	□企業の経済活動 □資本（金） □流通 □利潤 □経済のソフト化・サービス化 ・情報通信産業 □グローバルゼーション □市場 ・価格 ・需要量・供給量 ・財・サービス □ベンチャー企業 □社会的責任 □ボランティア □欠陥商品への対応 □不正行為の禁止 □地域社会との協調 □文化事業への貢献 □公害問題 □省エネルギー □クーリングオフ	□株式会社 □株式（株券） □株主 □株主総会 □配当（金） □金融（機関） □銀行 □利子 □借金	□貸金 □年功序列賃金制 □年俸制 □雇用 □終身雇用制 □正社員 □パートタイム労働者 □派遣労働者 □ワークシェアリング □失業者	

【自己評価の結果】

- ◆ 「企業」レベル（ ）でした。□にチェックは、（ ）個つきました。
- ◆ 「金融」レベル（ ）でした。□にチェックは、（ ）個つきました。
- ◆ 「労働者」レベル（ ）でした。□にチェックは、（ ）個つきました。
- ◆ 「企業、金融、労働者の関係」レベル（ ）でした。